

メディアセンター事業概要

メディアセンターは、コンピュータやマルチメディア機器の利用によって教育・研究の支援をする全学組織です。

学内ネットワーク環境の構築・管理、パソコン教室の管理や利用サポート、各教室に備えられた各種オーディオ・ビデオ機器の管理、教員への操作指導、講演会等のサポートや研究・教育資料のデジタル化など、多彩な業務を展開しています。

立教大学のネットワーク環境は、1999 年度にスタートした『立教 V-Campus (バーチャルキャンパス)』計画により整備され、2004 年度と 2008 年度のリニューアルを経て、研究・教育・事務利用を強力に支援しています。

2011 年春現在、池袋キャンパスのパソコン教室には約 1050 台、新座キャンパスには約 500 台の最新パソコンが導入され、授業や自習に利用されています。また、語学用パソコン教室では、通常のパソコン教室の機能に加え、マルチメディア化された語学教育環境をサポートしています。

これらパソコン教室をはじめ、学内の研究や事務で利用されている大型汎用機、ワークステーション、パソコンは高速な LAN で接続され、インターネットへとつながっています。

教職員と学生にはメールアドレスとホームページ領域が提供されているほか、授業支援システム『CHORUS』『Blackboard』といった教育支援ツールを運営・管理しています。これらは、教員と学生、学生同士の活発なコミュニケーションに大きな役割を果たしています。

参考

V-Campus について

■V-Campus で何ができる？

パソコン教室の利用や E-mail での情報交換、パソコンソフトでの英語学習、授業支援システム (CHORUS) 上での授業の予習・復習や課題の提出、携帯電話からの休講情報の確認など、V-Campus では学生生活を送る上で欠かせない情報環境が提供されています。

詳細は配布されたハンドブックや V-Campus ホームページ (<http://vc.rikkyo.ac.jp/>) を参照してください。